

質 問 回 答

2015 年 8 月 10 日

「(案件名) ベトナム国日越友好病院 (チョーライ第二病院) 整備事業詳細設計調査【有償勘定技術支援】」

(公示日 : 2015 年 7 月 29 日 / 公示番号 : 150540) についていただいたご質問に関し、以下のとおり回答します。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書本紙 8. 本体事業からの排除 (P9)	JV 構成員及び補強に含まれない本事業実施のための支援体制に含まれる日本国内又は「ベ」国内の企業 (調査のための再委託先を含む) 及びその関連会社/系列会社は、本規定の排除対象に含まれないと理解してよろしいでしょうか。	本事業への関与を通じ有償本体の入札に有利になる情報を得る企業は再委託等を含め本条項の適用対象となります。
2	業務指示書本紙 8. 本体事業からの排除 (P9)	本規定の排除対象に含まれない第三者が本体業務を受託し、その企業からの下請として業務を受託することは、本規定では排除されないと理解してよろしいでしょうか。	本規定の適用対象者は、下請であっても本規定により排除される業務に携わることはできません。
3	業務指示書別紙第 2 の 2. 円借款事業の概要 (6) 事業実施機関及びカウンターパート機関: チョーライ病院 (P2) 及び 業務指示書別紙第 2 の 5. 5-13 CRH との協議 (P6)	本事業における事業実施機関及びカウンターパート機関は CRH とのことで、 「P6 第 2.5. 5-13 CRH との協議」には「CRH では、(・・・)、本円借款事業の実施主体である Project Management Unit (PMU) が設置される予定。また、今後、(・・・)。このために PMU 及び同委員会と定期的協議を行う。」と記載がございますが、PMU のメンバー構成 (CRH 関係者のみか、保健省や人民委員会など病院外の関係者も含まれる予定であるか) をご提示いただけますでしょうか。 また、保健省や人民委員会など外部関係者が含まれない場合、本円借款事業の実施の意思決定にお	PMU のメンバーは CRH 関係者のみで、病院外の関係者は含まれない予定です。 本円借款事業の実施の意思決定において、保健省は調達計画の承認をする予定です。 なお、保健省・CRH・財務省・計画投資省・建設省・天然資源環境省・人民委員会・JICA 等によるステアリング・コミッティを設置し、省庁横断的な事案について調整する予定です。 PMU の設置場所はホーチミンの CRH 内です。

		<p>いて、それら外部機関の承認が必要でしょうか。さらに、PMUの設置場所はホーチミン（GRH内）でしょうか。あるいはハノイ（MOH内）でしょうか。</p>	
4	<p>業務指示書別紙第2の3. 本業務の目的（P2） 及び 業務指示書別紙第2の5. 業務実施上の留意点5-2 D/Dの定義（2）（P3） 及び 同5-16 成果品のGRHに対する使用権譲渡（2）（P7） 及び 業務指示書別紙第2の6. 業務内容6-1 6-1-7 B/D（4）SPDシステム ②本業務の内容（d）（P17） 及び 同6-2 D/D（4）SPDシステム①（P20）</p>	<p>「P2 第2.3. 本業務の目的」には、「本円借款事業の対象となる（・・・）、物品管理（Supply Processing Distribution。以下、SPD）システム、（・・・）、入札図書（案）を作成する。」との記載がございます。</p> <p>一方、「P3 第2.5. 5-2 D/Dの定義（2）」には「SPDシステムについては、本業務終了後に（・・・）要求水準書への提案書を作成する」との記載がございます。</p> <p>更に、「P7 第2.5. 5-16 成果品のGRHに対する使用権譲渡（2）」には、「成果品を利用して（・・・）、ICTシステム及びSPDシステムを構築する」との記載がございます。</p> <p>また、「P17 第2.6. 6-1 6-1-7 B/D（4）SPDシステム②本業務の内容（d）」及び「P20 第2.6. 6-2 D/D（4）SPDシステム①」には本業務におけるSPDシステムに係る業務の内容が記載されております。</p> <p>本業務におけるSPDシステムの業務では、入札図書（案）の作成は必要なく、B/D及びD/Dにおける業務を踏まえて、「SPD要求水準書への提案書」を作成するという理解で宜しいでしょうか。</p>	<p>本業務におけるSPDシステムの業務は、入札図書（案）の作成は必要なく、B/D及びD/Dにおける業務を踏まえたSPD要求水準書への提案書の作成とご理解下さい。</p> <p>業務指示書の記載に一部齟齬がございましたが、想定している具体的業務は「P17 第2.6. 6-1 6-1-7 B/D（4）SPDシステム②本業務の内容」及び「P20 第2.6. 6-2 D/D（4）SPDシステム」記載の内容です。</p>

5	業務指示書別紙第 2 の 5. 業務実施上の留意点 5-1(4) B/D の定義 (P3)	「CRH が雇用する設計業者が 2015 年 10 月から造成設計開始予定」とありますが、当該設計業者の選定等の進捗状況についてお知らせ願います。	造成の設計業者の選定は、現在 CRH が公示のための手続き中です。
6	業務指示書別紙第 2 の 5. 業務実施の留意点 5 - 1 B/D の定義 (4) (P3)	病院敷地の造成設計が 2015 年 10 月から開始予定とありますが、この設計業務の期間はどのくらいを予定しておりますでしょうか。	病院敷地の造成設計は約 6 か月間と想定しています。
7	業務指示書別紙第 2 の 5. 業務実施上の留意点 5-7 (1) 本業務期間の提案 (P4)	「本業務指示書では業務量の目途を 412MM、(・・・)、追加 MM を投入することにより設計期間を短縮することが見込まれる場合には、オプションとして短縮後の工程及び追加 MM を提案してよい。コンサルタントは、当該提案がある場合はプレゼンテーションの際に説明すること。」と記載がございますが、オプションはプロポーザルにて提案するという理解でしょうか。 また、その場合、「作業計画 [様式-2]」及び「要員計画 [様式-3]」を使用して提案するという理解でしょうか。もしくは「2-1 業務実施の基本方針等」又は「2-2 業務実施の方法」にて提案するという理解でしょうか。 さらには、オプション提案の見積もりを提出する必要はございませんでしょうか。	プロポーザルにてご提案いただき、作業計画他、お示しいただいた各項目にてご提案内容のとおり記載ください。また、必要な追加経費についても見積りに反映してください。
8	業務指示書別紙第 2 の 5. 業務実施上の留意点 5-11 医療機器及び病院運営 (1) (P5)	CR-VJH に導入する医療機器は、(・・・)、本業務の医療機器担当者はこれら機器の性能やスペック、(・・・)。また、核医学検査機器の導入に関しては、(・・・)。このため、コンサルタントはプロポーザルで、国内外におけるこうした先端医	プロポーザルではコンサルタントの会社としてのご実績及び業務従事者個人のご実績の両方を記載下さい。 医療機器団員は評価対象外ですが、業務指示書記載の国内外での先端機器の大型病

		療機器の大型病院への導入に關与した実績を具体的に記載すること。」と記載がございましたが、プロポーザルで記載すべき実績はコンサルタント（会社）の実績でしょうか。あるいは業務従事者（個人）の実績でしょうか。 また、後者の場合、本業務指示書では、「医療機器」団員は評価対象外業務従事者となっておりますが、具体的な実績の記載をする必要がございますでしょうか。	院への導入に關与したご実績について記載下さい。
9	業務指示書別紙第 2 の 5. 業務実施上の留意点 5-11 医療機器及び病院運営 (2) (P5)	CR-VJH は 1000 床の大型病院であり、(・・・)、本業務の担当者は、こうした知見を十分に持っていることが求められる。このため、コンサルタントはプロポーザルで、国内外の同規模の大型病院において、患者動線や患者中心の医療の実践、院内感染制御等の観点から病院のデザインに直接関係した経験を具体的に記載すること。」と記載がございましたが、プロポーザルに記載すべき実績はコンサルタント（会社）の実績でしょうか。あるいは業務従事者（個人）の実績でしょうか。	プロポーザルではコンサルタントの会社としてのご実績及び評価対象の業務従事者個人のご実績の両方を記載下さい。
10	業務指示書別紙第 2 の 5. 業務実施上の留意点 5-14 本邦招聘及び本邦研修の実施 (P6)	(2) 及び (3) の本邦研修に關して実施時期の想定はございますでしょうか。	(2) 及び (3) の本邦研修に關しては実施時期の具体的な想定はありませんので、適切と考えられる時期をご提案下さい。
11	業務指示書別紙第 2 の 5. 業務実施上の留意点 5-14 本邦招聘及び本邦研修の実施 (P7)	「当該業務にかかる経費に關しては「コンサルタント等契約における研修実施ガイドライン (2014 年 4 月)」を参照のこと」と記載がございましたが、同ガイドラインに記載された「受入」、「研修実施」、	業務指示書別紙第 2 の 5. 5-14 (2) 及び (3) 記載の研修に係るコンサルタントの業務範囲は、「コンサルタント等契約における研修実施ガイドライン」のうち、「研修実

		「研修監理」、「研修実施報告」のうち、「研修実施」及び「研修実施報告」のみが本調査におけるコンサルタントの業務範囲という理解で当該業務にかかる経費を見積もるといふことで宜しいでしょうか。	施」及び「研修実施報告」です。 なお、「研修実施報告」のうち、研修の実施日程等経費に影響する情報は月報に記載頂き、他方、研修の具体的内容や成果に係る情報は、GRHにも共有されるよう適切な成果品報告書に記載頂くことを想定しております。
12	業務指示書別紙第2の5.業務実施上の留意点5-14 本邦招聘及び本邦研修の実施 (P7)	本研修の実施は、原案には含まれておりませんが、見積書に積算すべき人件費には、P27記載の業務量412MMに含まれないと理解してよろしいでしょうか。	研修の実施も業務量412MMに含まれます。
13	業務指示書別紙第2の5.業務実施上の留意点5-14 本邦招聘及び本邦研修の実施 (P7)	(1) 招聘プログラムについては、直接経費の見積を不要とし、(2)(3)の研修プログラムについては、経費を見積もる理由をお示しください。	招聘プログラムは、経協インフラ会議等の我が国政府の方針を踏まえ、我が国の技術力や質の高いサービスへの途上国関係者の理解を促進することを目的としており、(人材育成支援を目的とした研修員受入事業に比べて) 開発途上国の関係者との関係構築も重要な目的としているため、プロポーザルによる競争対象とせず、別途JICAの基準による滞在費等を確保するためです。
14	業務指示書別紙第2の5.業務実施上の留意点5-18 瑕疵担保責任 (P7)	「請求額の上限は本契約の契約金額とするとともに、(・・・)」と記載がございますが、「医療機器整備」及び「医療情報システム (ICT) 整備」に関してもコンサルタントに瑕疵担保責任が発生するという理解でしょうか。	瑕疵担保責任は、医療機器整備やICTを含め、本業務の契約金額全体が上限となります。

15	業務指示書別紙第 2 の 5. 業務実施上の留意点 5-20 賠償責任保険 (P8)	「コンサルタントは、将来の賠償請求への支払い可能性に備え、適切な賠償責任保険に加入すること」と記載がございますが、賠償責任保険を見積もりに計上することは可能でしょうか。可能な場合、どの費目で計上すれば宜しいでしょうか。	賠償責任保険料を見積もりに計上して頂くことも排除しません。その場合は一般業務費の雑費に計上下さい。但し、その場合も、現在加入している（又はこれを予定する）賠償責任保険の概要（補償対象の業務範囲、支払限度額等）をプロポーザルに記載下さい。
16	業務指示書別紙第 2 の 5. 業務実施上の留意点 5-21 外部照査 (P8)	「また、コンサルタントは、B/D 及び D/D に係る照査結果を、（・・・）受領する。コンサルタントは、照査報告書を（・・・）CRH に提出し、（・・・）内容を説明し、CRH より（・・・）合意した旨の文書を受領するものとする。」と記載がございますが、照査報告書の内容について、外部照査機関と CRH の見解に相違が生じ、CRH から合意が取れなかった場合、どちらを優先すれば宜しいでしょうか。	基本的には CRH の合意を得て頂くことが前提ですが、仮に十分ご説明頂いても合意を得られない場合は、外部照査機関による照査内容を CRH と協議した後の最終的な対応と、その判断根拠や関連議事録を記録に残し、CRH と JICA へのファイナル・レポートに含めて下さい。その後、最終的には CRH が決定します。
17	業務指示書別紙第 2 の 5. 業務実施上の留意点 5-21 外部照査 (P8) 及び 6. 業務内容 6-1-7 (1) ① CR-VJH の施設建設の目的 (P13)	本病院建設の 5 つのキーワードの一つに「(b) 持続する建築」が掲げられているため、外部照査の項目に「環境性能の向上と環境負荷の低減」を加え、CASBEE の認定を国内再委託費に計上してもよろしいでしょうか。	CASBEE の認定を国内再委託費に計上のご提案でも問題ありません。なお、その場合、業務指示書で想定している外部照査と同じ照査機関への再委託は困難と想像されるので、CASBEE については単独で国内再委託する形でご提案下さい。

18	<p>業務指示書別紙第2の5. 5-23 環境社会配慮面の支援 (P9)</p> <p>チョーライ第二病院整備事業に係る積算調査 ファイナル・レポート 要約 16-1-8 (P16-36)</p>	<p>業務指示書において、EIA 報告書は承認済み、環境モニタリング計画EMoPと住民移転計画RAPが策定済みとされていますが、環境管理計画 EMP の策定について言及されておられません。</p> <p>一方「積算調査報告書」によると、事前調査団が、チョーライ病院 EIA 環境管理計画（2014 年 7 月作成）を参照しつつ EMP 案を作成したと記載されております。これにつき、事前調査報告書での参照先は「チョーライ第二病院管理計画」の EMP であり、事前調査団はそれを修正した、すなわちチョーライ第二病院建設計画に関する EMP はすでに策定されたと理解してよろしいでしょうか。</p>	<p>Environmental Management Plan (EMP) はすでに策定されています。本業務の契約締結後に配布予定です。</p>
19	<p>業務指示書別紙第2の5. 業務実施上の留意点5-27 日本国内ワーキンググループ（仮称）との協力 (P10)</p>	<p>「今後、本円借款事業及び附帯技術協力プロジェクトについて、内容を整合性のある形で実施することを目的として、(・・・)」と記載がございしますが、</p> <p>附帯技術協力プロジェクトの具体的な内容(目的、成果、投入等の詳細)をご教示頂けますでしょうか。</p> <p>また、本附帯技術協力プロジェクトの詳細計画策定調査報告書があれば配付頂けますでしょうか。</p>	<p>円借款の附帯技術協力プロジェクトは、今後ベトナム政府から正式な要請書が提出される予定のため、詳細計画策定調査はまだ行われておりません。現時点の案としては、チョーライ病院及びチョーライ第二病院、下位病院の医療サービスや病院運営強化を目的とし、業務指示書別紙第2の1. 業務の背景に記載のあるような、医療サービスの質の改善、リファラル強化（下位病院強化）、予防医療の促進、安全な医療、効率的・持続的な経営等を想定しています。投入は、長期・短期専門家派遣、研修、機材供与等を想定していますが、具体的には今後 GRH と協議予定です。</p>

20	業務指示書別紙第 2 の 5. 業務実施上の留意点 5-27 日本国内ワーキンググループ（仮称）との協力（P10）	「本業務は、B/D 段階において当該ワーキンググループからも、特に医療機関の視点からコメントを受けることとする。」と記載がございますが、ワーキンググループの開催頻度はどの程度を想定しておりますでしょうか。また、現地での開催は想定しておりますでしょうか。	国内ワーキンググループの開催は現時点では概ね数か月に一度程度を想定しています。現地での開催よりも日本国内の開催が中心になる見込みです。
21	業務指示書別紙第 2 の 5. 業務実施上の留意点 5-31 広報（P10）	コンピュータグラフィックによる透視図、ビデオアニメーション、模型製作等をオプションとしてご提案してよろしいでしょうか。	提案頂いて問題ありませんが、過度にコストがかかるご提案は避けて頂きますようお願いいたします。
22	業務指示書別紙第 2 の 5. 業務実施上の留意点 5-31 広報（P10）	「（・・・）、積極的に広報を行うこと（我が国 ODA 及び JICA 事業であることを示す現場の看板設置を含む）」と記載がございますが、現場の看板は、本調査段階から設置が必要でしょうか。必要な場合、現場とは建設予定地という理解でしょうか。また、看板に関して JICA の仕様（大きさ、材質、表記項目等）がございますでしょうか。	現場の看板は、本業務段階から設置が必要です。現場は主に建設予定地を想定していますが、CRH 内での設置も排除しません。看板に係る JICA の公的な仕様はありませんが、CRH と協議して頂きつつ、基本的に、日本国旗・ベトナム国旗・日本 ODA ロゴ・JICA ロゴを記載のうえ、越語・日本語・英語で我が国の ODA 支援案件であることを示す文言を、広報の目的を果たすために適切な大きさと経年変化に耐える材質のもので示すことを想定しております。なお、日本 ODA ロゴ及び JICA ロゴの使用にあたっては、本業務の契約締結後に送付予定の関連マニュアルに沿って頂きますようお願いいたします。

23	業務指示書別紙第2の6. 業務内容 6-1 6-1-3 造成関連作業の支援 (P11)	<p>「病院敷地の造成は、(・・・)、これらの作業を支援するために、コンサルタントは以下の作業を行う。」と記載がございますが、これらの業務は、本業務指示書で想定されている業務従事者のうち、「土木設計」が担当するという理解で宜しいでしょうか。</p> <p>また、造成設計の期間は何か月程度と想定しておりますでしょうか。</p> <p>さらに、本調査期間内に実施すると予想される造成実施業者の選定に係る支援はコンサルタントの業務範囲外という理解で宜しいでしょうか。仮に業務範囲ということでしたら、造成実施業者選定の期間は何か月程度と想定しておりますでしょうか。</p>	<p>これら業務は「土木設計」の団員が担当することを想定しています。</p> <p>造成設計の期間は約6か月と想定していません(2016年3月完了見込み)。</p> <p>造成業者の選定に係る直接的な支援はコンサルタントの業務範囲外の想定ですが、6-1-3(2)のとおり、選定の遅れにより本円借款事業が遅れないよう、コンサルタントはGRHのスケジュール管理の支援をすることを想定しています。</p> <p>GRHによる造成業者の選定期間は約9ヶ月(完了時期は開始時期によります)と想定しています。</p>
24	<p>業務指示書別紙第2の6. 業務内容 6-1 6-1-7 B/D (4) SPD システム ②本業務の内容 (d) (P17) 及び 業務指示書別紙第2の6. 業務内容 6-2 D/D (4) SPD システム ① (P20)</p>	<p>「D/D 段階において、(・・・) SPD システムの試行導入(テストラン)を実施するための必要な準備を行う。」及び「B/D で策定した SPD のテストランを実施し、(・・・)」と記載がございますが、テストランを行う受託業者の選定支援は、本調査のコンサルタントの業範囲という理解でしょうか。</p> <p>また、テストランを行う受託業者への委託費用は GRH が負担するという理解で宜しいでしょうか。</p>	<p>SPD システムのテストランは、別の業者への委託ではなく、本業務のコンサルタントが、本業務の契約内で実施することを想定しています(一部ローカルリソースの活用も可)。</p> <p>このため、テストランの費用も GRH 負担ではなく、本業務の契約金額から支出される想定です。</p>
25	業務指示書別紙第2の6. 業務内容 6-3 入札図書(案)作成 6-3-1 全体 (P21) 及び	<p>入札図書(案)は、「<u>P21 第2.6. 6-3 入札図書(案)作成 6-3-1 全体</u>」に記載された構成と理解しておりますが、入札図書(案)の成果品は、「<u>P24 7. 7-2 7-2-1 (2) フ</u></p>	<p>入札図書(案)の成果品は、業務指示書 P. 25 の 7-2-2(3)入札図書(案)報告書として、ドラフト・ファイナル・レポート及びファイナル・レポートに含めて頂きますようお願い</p>

	<p>業務指示書別紙第 2 の 7. 成果品 7-2 7-2-1 (1) ドラフト・ファイナル・レポート (DF/R) (簡易製本) (P24)</p> <p>及び</p> <p>業務指示書別紙第 2 の 7. 成果品 7-2 7-2-1 (2) ファイナル・レポート (F/R) (製本) (P24)</p> <p>及び</p> <p>業務指示書別紙第 2 の 7. 成果品 7-2 7-2-2 (3) 入札図書 (案) 報告書 (P25)</p>	<p>ファイナル・レポート (F/R) (製本) (「P24 7. 7-2 7-2-1 (1) ドラフト・ファイナル・レポート (DF/R) (簡易製本)」に GRH のコメントを反映したレポート)」及び「P25 7. 7-2 7-2-2 (3) 入札図書 (案) 報告書」の両方に同じもの含めるという理解で宜しいでしょうか。</p> <p>また、「P24 7. 7-2 7-2-1 ドラフト・ファイナル・レポート (DF/R) (簡易製本)」及び「P24 7. 7-2 7-2-1 (2) ファイナル・レポート (F/R) (製本)」に含まれる入札図書 (案) に関して、その構成資料の全てについて、越文及び和文の作成が必要という理解で宜しいでしょうか。特に、FIDIC の標準契約約款 (MDB 版) を含む JICA の標準入札書類、技術仕様書 (ICT、医療機材)、建築図面 (構造、意匠、電気、設備) も全て、和文、越文をコンサルタントが作成する必要がありますでしょうか。」</p>	<p>願ひ致します。このため、入札図書 (案) 報告書のみ別に作成頂く必要はありません。</p> <p>ドラフト・ファイナル・レポート及びファイナル・レポートに含まれる入札図書 (案) は、FIDIC 標準契約約款や JICA の標準入札書類等を含めて左記ご質問の各文書や図面等、構成資料の全てについて、英文及び越文を作成下さい。和文の作成は不要です。</p>
26	<p>業務指示書別紙第 2 の 7. 成果品 (P23)</p>	<p>見積もりの算出に必要と考えられますので、作成・提出する成果品に含まれる各種図面の縮尺をご教示ください。</p>	<p>成果品に含まれる各種図面とその縮尺は、本円借款事業を実施するためにベトナムの関連法規上必要とされる図面と縮尺を調査頂き、これに沿ったものを作成下さい。</p> <p>また、上記に加え、本円借款事業は STEP 案件のため、本邦企業が施工するために必要と想定される図面の作成もお願い致します。必要と想定される各図面とその縮尺を以下に示します。</p> <p>配置図 : 1/1000</p>

			<p>平面図：1/200 立面図：1/200 断面図：1/200 詳細図：1/50（必要に応じ、1/2、1/3、1/5、1/10、1/20でも可） 展開図：1/50 天井伏図：1/200 建具表：1/100 外構図：1/500 基礎・基礎梁伏図：1/200 各階伏図：1/200 軸組図：1/200 断面リスト：1/50 配筋図：1/50</p>
27	<p>業務指示書別紙第2の7. 成果品 7-1B/D 段階-7-1-1 業務報告書- (3) インテリム・レポート(IT/R) (簡易製本) (P24)</p>	<p>B/D 段階の業務報告書の中に (3) インテリム・レポートがありますが、提出時期がD/D 業務開始後4ヶ月であることから、IT/R はD/D 段階の業務報告書とみなして宜しいでしょうか？</p>	<p>IT/R と D/D 段階の業務報告書は別々に作成ください。B/D 終了後1か月以内に外部照査機関がコンサルタントに照査報告書(B/D 段階)を提出しますので、コンサルタントは、当該照査報告書及び照査の設計への反映結果を含めてインテリム・レポートを作成下さい。また、インテリム・レポートは、内容についてCRH の了解を得たうえで JICA に提出頂くため、JICA への提出時期をD/D 業務開始後約4ヶ月としているものです。</p>

28	<p>業務指示書別紙第 2 の 7. 成果品 7-1 7-1-2 その他 B/D 段階の成果品 (1) (P24)</p> <p>及び</p> <p>業務指示書別紙第 2 の 7. 成果品 7-2 7-2-2 その他 D/D 段階の報告書 (2) (P25)</p>	<p>「再委託調査報告書 (B/D 段階)」及び「再委託調査報告書 (D/D 段階)」は、現地再委託調査を提案しない場合は、当該成果品の提出は不要という理解で宜しいでしょうか。</p>	<p>「再委託調査報告書 (B/D 段階)」及び「再委託調査報告書 (D/D 段階)」は、現地再委託調査のご提案がない場合は、当該成果品のご提出は不要です。(照査報告書は別途ご提出下さい)</p>
29	<p>業務指示書別紙第 2 の 7. 成果品 7-4 成果品の内容 (P26)</p>	<p>「各成果品の内容は以下のとおり。(・・・)、理由とともにプロポーザルで提案する」と記載がございますが、</p> <p>「以下のとおり」とはどこを示しておりますでしょうか。</p>	<p>7. の冒頭と重複していました。7-4 を削除します。</p>
30	<p>業務指示書別紙第 3 の 1. 業務の工程 (P27)</p>	<p>「本邦の一般的な医療機関と同等の設計の品質を確保するため、必要に応じて国内支援や国内作業も考慮に入れた柔軟な作業計画を提案すること」とありますが、業務従事者の構成(案)ではローカルリソースに比べて多くの日本人の配置が見込まれているため、(たとえば無償資金協力の D/D のような)国内を拠点とした設計作業という提案も可能でしょうか。</p>	<p>日本国内を拠点とした設計作業の提案も可能です。但し、CRH の現状調査や CRH との協議のための十分な現地調査期間が確保されていることを前提とします。</p>
31	<p>業務指示書別紙第 3 の 2. 業務量の目途と業務従事者の構成 (案) (P 27)</p>	<p>(1)業務量の目途:全体で約 412MM となっており、一方 (3) ローカルリソースの活用:約 151MM とありますが、ローカルリソースを含めた全体の業務量は $412+151=567$MM と読み解いて宜しいのでしょうか？</p>	<p>ローカルリソースも含めた全体の想定業務量は $412+151=563$MM です。</p>

32	業務指示書別紙第3 2. 業務量の 目途と業務従事者の構成(案)(2) 業務従事者の構成(案)(P27)	「3) 病院運営(2号目途)」と記載がござい ますが、 「2号目途」と「2号」の違いについてご 教示ください。	「2号目途」は「2号」に統一致します。 なお、これは JICA 案であるため、他の 号数によるご提案も可能です。
33	業務指示書別紙第3の2. 業務量 の目途と業務従事者の構成(案) (P27)	(2) 業務従事者の構成(案): 36) 調達計 画で想定される業務は、医療機器・ICT システムにおける入札図書に関連した 調達計画の策定業務との理解で宜しい でしょうか？	調達計画の団員は、医療機器・ICT だけ でなく、本円借款業務全体の調達パッ ケージを対象とした業務です。 なお、業務指示書の P2 の調達パッ ケージの記載に一部齟齬がございました ので、追加資料1※に差し替えさせて 頂きます。
34	配布資料 自然条件調査報告書 地質調査 資料 チョーライ第二病院整備事業に 係る積算調査 ファイナル・レポ ート 要約 平成27年2月の P5-8 図5-13 地質調査位置図 (5箇所)	現地ボーリング調査結果は HK-1 から HK-5 までの5本の柱状図が配布資料 として提供されましたが、このボ ーリング調査で採取された資料はど のような項目の室内試験が行われて おりますでしょうか。 Survey point として赤色の四角で示 した BH-A から BH-E のボーリング 位置図が示されておりますが、これ らの柱状図および室内試験結果はご ざいませうでしょうか。	HK-1 から HK-5 までのボーリング調 査に係る室内試験は行われていない と認識しています。ご参考として追 加資料2※(一部ベトナム語のみのも のが含まれます)を配布致します。 BH-A から BH-E のボーリング位置 図の室内試験結果は、配布資料 REPORT ON SOIL INVESTIGATION のうち、MAIN REPORT ON SOIL INVESTIGATION FOR CHORAY HOSPITAL SECOND_ENGLISH. pdf の P28 を、また柱状図は同 P48 以降を、またそれぞれ APPENDIX もご確認下さい。
35	該当頁なし	チョーライ第二病院建設予定地点の 土壌調査は行われましたでしょうか。 もしすでに実施されている場合、ど のような検査項目でしょうか。	配布資料 REPORT ON SOIL INVESTI GATION 及びこの APPENDIX に記載 の調査は実施していますが、土壌の 化学的な性質に係る調査は実施され ていません。

36	該当頁なし	<p>チョーライ第二病院建設予定地点および周辺水路における水質調査は行われましたでしょうか。もしすでに実施されている場合、どのような検査項目でしょうか。</p>	<p>水質調査は BH-C の地点で実施しております。配布資料 REPORT ON SOIL INVESTIGATION のうち、MAIN REPORT ON SOIL INVESTIGATION FOR CHORAY HOSPITAL SECOND_ENGLISH. pdf の P43-44 をご確認ください。</p>
----	-------	----------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

以上

※追加資料の配布については、別途、本日中に業務指示書等配布依頼書をご提出いただいた各社のご担当者様にご案内いたします。